

令和8年度 井口台エルモ事業計画書

1 今年度の目標

- ・井口台エルモの基盤整備と要望が多かった大人や子どもたちの居場所づくりの体制を整える

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	地域全体への情報提供促進事業	(4) 事業中(1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日	
(2) 実施場所	井口台小学校区全域	
(3) 参加者数	7,000 人(見込み)	
(4) 主催団体	井口台エルモ、井口台地区社会福祉協議会 井口台地区各町内会ほか構成団体	
4 取組内容	町内掲示板の補修 町内掲示板の活用(運用)しくみづくり アナログ情報提供方法:お配り隊(仮称)しくみづくり 公式ホームページを引き続き運用する	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 町内各団体の加入率が低下し、役員の高齢化や固定化が問題になっている。地域活動や行事への参加も限定的になりつつある。そのため、井口台エルモは井口台地区社会福祉協議会をはじめとした他の団体等とともに地域の課題解決を実践していく組織であることを地域住民に周知し、地域住民が主体的に関わることを目指す。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 地域住民全体に情報を届けることにより、地域住民のひとりであるという当事者意識を持つきっかけとなる。地域活動への参加を促進する効果が期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	3世代フェスタ開催事業	(4) 事業中(2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(15) (1)～(14)に掲げる活動の新たな担い手の確保に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年10月25日	
(2) 実施場所	井口台小学校体育館	
(3) 参加者数	400 人（見込み）	
(4) 主催団体	井口台エルモ、井口台地区社会福祉協議会 井口台地区各町内会ほか構成団体	
4 取組内容	3世代が主体となり楽しめる催しを開催することと、その企画立案、進行に新たな担い手を確保する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 町内会の加入率の低下や、役員の高齢化や固定化が問題になっている。地域活動や行事への参加も限定的になりつつある。エルモが社協と共催することにより、井口台に暮らす全世帯を対象としてコミュニティの絆を高めることを目的とする。世代間の交流を深めることで、幅広い年代層の新たな担い手を確保する道筋がたてられる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 新たな実行委員会を立ち上げることで行事にかかわる新たな担い手の確保につながり、世代間交流により地域住民の絆を高めることができる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	とんどまつり開催事業	(4) 事業中(3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(15) (1)～(14)に掲げる活動の新たな担い手の確保に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和9年1月10日	
(2) 実施場所	井口台公園	
(3) 参加者数	500 人（見込み）	
(4) 主催団体	井口台エルモ（とんどまつり実行委員会）	
4 取組内容	正月飾りや、古いお守り、神札などを「とんど」の火で燃やしてお焚きあげし、その炎で暖まりながら 無病息災や大漁・豊作などを願う伝統行事の継承と、井口台に暮らす方々との交流を深め、にぎわいつくりにつなげる。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 町内会の加入率は低下傾向にあり、井口台に暮らす全世帯を対象としてコミュニティの絆を高めることを目的とする。伝統文化の継承と、新たな担い手を確保する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 新たな実行委員会を立ち上げることや、教育現場でとんどについて学ぶ場を設け、親子で授業に参加するなど新たな企画を考えると、伝統事業の継承、新たな担い手の確保といった問題解決の効果が期待できる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	さくらまつり開催事業	(4) 事業中(4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(15) (1)～(14)に掲げる活動の新たな担い手の確保に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和9年3月28日	
(2) 実施場所	井口台公園	
(3) 参加者数	1000人（見込み）	
(4) 主催団体	井口台エルモ（さくらまつり実行委員会）	
4 取組内容	井口台以外の方々も参加できるよう催しを開催し、さくら・瀬戸内海の眺望・住民との触れ合いを通じて、井口台の理解を深めてもらう。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 住民の高齢化に直面し世帯数並びに、住民の数も減少している。特に小学校、中学校の在学学生も減少してきている。事業を通じて井口台の良さを再認識してもらい、居住者の増加を促す。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） もともとは、景観の良さ、子育て環境、生活利便性において現役世代には便利で快適な生活を送れる町である。さくらまつりで井口台をアピールすることで、人口増につながる。	

3 自主財源で実施する事業

なし